

# 住吉中16回生が寄付

## 高齢化で同期会解散 活動資金母校へ



林代表（右から2番目）らが杉山校長に  
目録を渡した

住吉中学校16回生の同期会「三七（みなよし）会」（林久善代表）は9日、母校の教育、環境活動費として同校に15万円寄付した。高齢化で同期会の会員も減っており、本年度で解散。残った活動資金を後輩たちのために役立てて

もらおうと託した。

三七会は昭和37年度の卒業生358人で結成し、母校への支援や数年に1度、懇親会などを開いていた。現在会員数が3分の1以下となったほか、高齢化も進んでいるとして平成30年度に実施し

た「古希を祝う会」をもつて解散に向けた準備を始め、コロナ禍を経て本年度に解散。これまで集めていた会費15万1182円を母校に寄せた。

林代表（75）ら役員3人が母校を訪れ、「中体連での活躍など常に

母校のことが頭にあり、教育環境・活動が充実するよう使っていた。『だきたい』と語り、杉山孝一校長に手渡した。

杉山校長は「こうした寄付を受け、本校の伝統、諸先輩方の思いが感じられる」と感謝した。

【横井康彦】